

【農林水産物・食品の広報及び 日本産酒類の輸出促進】

沖縄泡盛・オリオンビール・観光PRイベントの開催(タイ)

開催日： 令和5年11月14日(火)
場所： 大使公邸
主催： 在タイ日本国大使館
後援： 農林水産省、国税庁、沖縄県
協力団体： 沖縄県酒造組合

在タイ日本国大使館

【概要】

- 日本産酒類の輸出拡大のポテンシャルが大きいと考えられるタイ、バンコクの大使公邸において、泡盛の魅力発信と併せてオリオンビールや観光についてもPRするレセプションを開催。当日は、酒類輸入・卸売業者、食品輸入事業者、小売店、飲食店、航空・旅行事業者、メディアやインフルエンサー等108名が参加。
- 泡盛に関する有識者として「泡盛ジンブナー」の遠山氏を講師として招き、泡盛の歴史、製造方法や泡盛に見出せる沖縄とタイのつながりについて紹介。沖縄県シンガポール事務所らによる沖縄の観光の魅力を伝えるプレゼンやクイズ大会も実施。
- 三線奏者の藤本真希氏による三線生演奏やカチャーシーを通じて沖縄の文化を発信。
- ラフテーや沖縄そばなどの沖縄の代表的な料理に加え、泡盛を使ったタイ風の料理も提供。
- 加えて、会場には泡盛の試飲ブースを設け、沖縄県酒造組合の協力のもと、タイで流通している銘柄に加え、未進出の銘柄も含めて30種以上の泡盛を用意し、参加者に対してソーダ割り、シークワサー割り等の飲み方を含めた泡盛の魅力をPR。



「泡盛ジンブナー」遠山氏によるレクチャー



沖縄観光のプレゼンとクイズ大会

【結果・評価】

- 当日は、80名を超える事業者の参加があったのに加え、ミスビジットジャパン、インフルエンサー、20名を超えるメディアが参加し、SNSでの発信や各種メディアでの報道を通じてタイの一般消費者に広くアピールすることができた。
- 会場では、泡盛について美味しい、シークワサーリキュールが好みといった好意的な意見が多く聞かれたほか、輸入事業者から新たにタイで泡盛の取り扱いを希望する声が聞かれた。オリオンビールや沖縄料理、泡盛を使った創作料理についても総じて好評だった。
- イベント実施後のアンケートでは、イベントに高い満足度評価を得られたほか、大半の回答者から泡盛や沖縄訪問への関心が高まったとの感想が得られた。



試飲を楽しむ参加者